



2004年1月5日

第2566号

週刊医学界新聞

週刊 毎週月曜日発行) 1950年4月14日第三種郵便物認可
発行 株式会社医学書院 ©2004 shinbun@igaku-shoin.co.jp
〒113 8719 東京都文京区本郷5-24-3
電話 03 3817 5694 5695 FAX 03 3815 7850
ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>
購読料 1部100円 1年5000円 振替00170 9 96693

日本の医療はどう変わる?

2004

医師臨床研修 必修化

2004年、インターン制度の廃止から実に36年ぶりに、医師の臨床研修制度の大改革が行なわれる。医師免許を取得後、2年間の臨床研修を義務づける、いわゆる「臨床研修の必修化」だ。新しい研修制度では、医学・医療の社会的役割の観点から、自分の専門分野しか診れない医師ではなく、「患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力」を有する医師の育成が目標に掲げられ、そのために必要な「研修・指導体制の充実」、「研修医が研修に専念できる環境の整備」を行なうとされている。

国民が求める医師は本当に育つのか? 日本の医療はどう変わるのか? 大改革の成否は、現場の医療従事者1人ひとりの努力にかかっているとみえる。

「医師臨床研修必修化」 この歴史的な年を迎えるにあたり、日本における「臨床研修」の過去・現在・未来に目を向けてみた。